

令和元年度 第4回 行政改革推進委員会 会議録

開催日時	令和元年11月12日（火曜日） 開会・午前9時30分 閉会・午前10時55分
開催場所	上湧別コミュニティセンター 2階大会議室
出席委員等	北村会長、高桑職務代理者、菊地・小林・高橋・野田・森・宮澤委員
欠席委員等	松浦委員
職員	総務課：濱本課長 企画財政課：佐藤課長、因財政担当課長、西海谷主幹、近石主事
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 確認事項 (1) 第3回 行政改革推進委員会の会議録について 4. 議 題 (1) 令和元年度 行政（外部）評価について (2) 令和元年度 行政評価・外部評価報告書の確認について 5. 報告書提出 6. その他 (1) 消費税の税率改正に伴う使用料及び手数料の見直しについて (2) 公共施設再配置実行計画（第1期）に係る対応状況について (3) 行政機能の集約化について 7. 閉 会
会議の公開	公開
傍聴人の数	0名
提出資料	<ol style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度 第3回 行政改革推進委員会会議録 (2) 令和元年度 行政（外部）評価説明資料（外部評価用） 『No.14 ふるさと納税推進事業』（追加資料） (3) 令和元年度 湧別町行政評価外部評価報告書（案） (4) 令和元年度 公共施設再配置実行計画（第1期）に係る 対応状況一覧表 (5) 行政機能の集約化について

1. 開 会

佐藤課長が会議の開会を宣言し、委員の過半数以上が出席しているため、委員会の成立を確認した。

2. あいさつ

北村会長) お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。本日の会議では、第3回までの会議をまとめたものを皆さま方にご提示を申し上げ、この第4回の会議でご承認をいただき行政評価の報告をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3. 確認事項

(1) 第3回 行政改革推進委員会の会議録について

北村会長) 会議録の内容を確認したいと思います。

【意見及び質問】

※会議録の記載内容については、全員が了解した。

4. 議 題

(1) 令和元年度 行政（外部）評価について

北村会長) 続いて前回会議で質問のあった「ふるさと納税推進事業」について事務局から説明をお願いします。

※会議資料に基づき佐藤課長より説明する。

⇒質疑なし

(2) 令和元年度 行政評価・外部評価報告書の確認について

外部評価報告書（案）について、西海谷主幹より説明する。外部評価抽出事業の15事業について、評価の再確認を行った。

※意見等のあった事業のみ記載

【意見及び質問】

■NO. 11 湧別高等学校存続対策事業

委員) 紋別市から湧別高校に進学した生徒と話す機会があり、湧別高校を選んだ理由を聞くと、中学校の先生に進路の相談をしたときに湧別高校を勧めてもらい決めたそうです。その生徒は自分のやりたいことをしっかり持っている子で湧別高校を選んで正解だったと言っていました。湧別高校を勧めてくれた先生は以前上湧別中学校にいた先生で、中高一貫教育を行っている中で、湧別高校のことをよく知っている先生が、自分の生徒に湧別高校を勧めてくれたことがすごく嬉しいことだと思いました。中学校と高校の先生たちの交流を図っていくことが地道ですが一番手堅いことで、中学生にとっても先生に勧められることが一番説得力が

あると思います。親の意見もちろんありますが、先生の勧めで湧別高校に進学した生徒がいることを皆さんにも知っていただきたくお話させていただきました。先進的な取り組みを行う学校のリサーチも大切ですが、地元の中学校の先生たちにも湧別高校の良さを知らせていくことも大切だと思いました。

委員) 町外の中学校の進路指導の先生等に湧別高校のPRは行っていないのでしょうか。

佐藤課長) 存続対策事業の内容については近隣の遠軽町、佐呂間町、紋別市の中学3年生の保護者宛に学校を通じて配布をしていただいていますので、存続対策事業についてはご理解いただいていると思いますが、学校そのもののPRには至っていません。地元の中学校であれば、中高一貫教育の中でもっと連携を深めてくださいとお話をしており、しっかり湧別高校の良さを理解して進路指導に活かしていただきたいとお願いしています。近隣の市町を含めて湧別高校の良さを伝えていくという部分を附帯意見に加えさせていただくことでよろしいでしょうか。
⇒ 協議の結果、附帯意見に「湧別高校の良さをもっと近隣市町を含む中学校の先生に理解していただく。」を追加することとした。

北村会長) 報告書の修正がありますので暫時休憩とします。

5. 報告書提出

佐藤課長) これより、北村会長と高桑職務代理者より石田町長へ外部評価報告書を提出させていただきますので、委員の皆様もご起立をお願いいたします。

※北村会長が報告書を朗読し、石田町長へ報告書を手交する。

北村会長) ただいま、報告書を提出させていただきました。提出を受け、石田町長からご発言があるようですので、よろしく申し上げます。

石田町長) 委員の皆様には日頃より町政全般にわたり格別のご理解とご指導をいただいておりますことをこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。行政改革につきましては、行政を運営する上においても基本的なことであり、行政の効率化、財政の健全化を基本に行政運営をしているところであります。

しかし、我々行政に携わっているものでは中々見えない部分もありますので、町民の方々の目でチェックしていただきたいという思いで第三者機関としてこの委員会を設置させていただきました。

本年度におきましても4回にわたり慎重審議をしていただき、その結果が本日の報告書に詰まっていると受け止めております。

我が湧別町も先月10月5日を以って合併から10年を経過したところであります。この10年の間、行政を進める中で町民の福祉向上を目指しながら進めて参りましたが、まだまだ至らぬところがあるわけであり、そういった意味で10年

を節目としてこれからも町民の福祉向上に向けてがんばっていきたいと思っています。

令和元年も残りわずかです。先般令和2年度の予算編成に当たっては委員さんからいただいた意見や過去の経緯等を踏まえる様に、職員に考え方を含めて指示をしたところでもあります。新年度に向かってこれから動き出すところですが、引き続き委員の皆様にはよろしくようお願い申し上げたいと思っています。今年1年ご苦勞いただきましたことに御礼を申し上げて挨拶に代えさせていただきたいと思ひます。またこの後、委員の皆様には消費税に絡む手数料の問題、公共施設再配置実行計画の問題、行政機能集約化の問題についてご協議をいただくこととなっておりますので、引き続きよろしくようお願い申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

佐藤課長) 申し訳ございませんが町長はこの後、他の公務がございますのでここで退席させていただきます。

6. その他

北村会長) それでは会議を再開させていただきます。議題6 その他について事務局から説明をお願いいたします。

(1) 消費税の税率改正に伴う使用料及び手数料の見直しについて

※会議資料に基づき因財政担当課長より説明

【意見及び質問】

⇒ 意見なし

(2) 公共施設再配置実行計画（第1期）に係る対応状況について

※会議資料に基づき因財政担当課長より説明

【意見及び質問】

- 公共施設再配置計画のプロジェクトチームのメンバーについて教えてください。
⇒ プロジェクトチームは4月に町長より6つの行政課題に対し検討する様に指示があり職員を配置した経過があります。公共施設再配置実行計画のプロジェクトチームについては概ね公共施設を担当している課の職員で構成しており、総務課、企画財政課、福祉課、健康こども課、商工観光課、建設課、教育委員会の所属職員で課長または主幹、グループ長の職員で構成しています。
公共施設の再配置については今年度中の検討となっておりますので、再度町長から指示があったときには、そのときの担当で構成することとしています。(因財政担当課長)

- 愛 Land You の民間譲渡の話が出てきたということは民間譲渡の可能性があると

ということでしょうか。

⇒ 選択肢のひとつとして、民間譲渡も考えられます。遊具施設の老朽化もありますので、継続するのであれば遊具等の更新が必要になりますし、できないのであれば閉鎖も考えられます。遊園地自体では採算が取れていますが、レストランと道の駅で赤字が出ているので、遊園地だけでも民間譲渡できないかなども検討を進めています。(刈田副町長)

○ 芭露畜産研修センターも老朽化が進んでいますが、葬儀や子ども支援など多目的に使用されています。将来的にどう考えているのでしょうか。

⇒ 畜産センターの体育館は耐震化が必要ですので、来年の中湧別総合体育館の耐震化完了後に、実施設計をして耐震化を実施します。畜産研修センターは芭露地区の町の会館として位置づけていますので、併せて畜産センター自体も継続的に使用できるように考えています。(刈田副町長)

○ 上湧別保育所、芭露保育所について、幼保一体の幼児教育の推進プロジェクトの進捗状況を教えていただきたい。

⇒ 保育所と幼稚園の両方の機能を持った認定こども園が主流となってきていますので、幼保一体で湧別保育所と中湧別保育所、中湧別保育所と上湧別保育所をひとつにした形で進めていくことで120人定員規模程度の認定こども園ができるのではないかと検討しています。芭露保育所については計呂地や西芭露から中湧別まで通うのは難しいため、保育所として残す方向で考えています。将来的には認定子ども園2つ、保育所1つの形で考えています。

また、保育所の運営を行政が行う場合においては、補助金はありませんが民設民営で運営する場合は、整備費、運営費の補助があります。町内には民間のみのり幼稚園がありますので、幼稚園の法人の中で運営できないか協議を進めています。(刈田副町長)

(3) 行政機能集約化について

※会議資料に基づき濱本課長より説明

【意見及び質問】

○ 文化センターTOMについて言及されていませんが、今後の方針を教えてください。

⇒ 文化センターTOMについては改修して庁舎にする考えはありません。文化施設を庁舎に改修するとなると多額の費用がかかることに加え、中湧別地区の集會施設としての位置づけもありますので文化施設として利用していきます。(濱本課長)

○ 出張所の配置はどうなるのでしょうか。

⇒ 中湧別出張所、湧別出張所、芭露出張所となります。(濱本課長)

○ 庁舎の耐久年数はどのくらいでしょうか。

⇒ 建物は60～70年持ちますが、配管や電気系統などの設備については故障する都度、改修工事は必要になります。(刈田副町長)

○ 庁舎を上湧別庁舎に統合する場合であっても冷房設備の改修など、夏場の暑い中で役場に来る町民や職員の環境のケアが必要であると思います。

⇒ 設備の改修については冷房だけでなく防災等も含めて検討を進めます。冷房の設置については庁舎だけの問題ではなく、保育所や学校もありますので、全館は難しいですができる部分については来年度以降対応していきます。(刈田副町長)

7. 閉 会

北村会長) 以上をもちまして、本日の行政改革推進委員会の会議を終了したいと思います。

佐藤課長) 7月29日の第1回行政改革推進委員会に始まりまして、長期間にわたりましてご協議をいただき大変ありがとうございました。本年度の行政改革推進委員会については本日を以って終了することとなります。また行政改革推進委員会にご協議いただく事項が出ました折には改めてご相談をさせていただくこともあろうかと思っておりますので、その節はぜひともよろしく願いいたします。大変お世話になりました。ありがとうございました。